別添②

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（　令和７年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	36,752.05	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	9,167	人	利用者の１日の平均労働時間数	4.01	時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（12月1日～11月30日）

前々々年度（令和５年度）

生産活動収入から経費を除いた額	36,902,368	円	利用者に支払った賃金総額	35,999,191	円	収支	903,177	円

前々年度（令和６年度）

生産活動収入から経費を除いた額	33,328,111	円	利用者に支払った賃金総額	32,889,352	円	収支	438,759	円

前年度　（令和７年度）

生産活動収入から経費を除いた額	37,958,272	円	利用者に支払った賃金総額	37,810,671	円	収支	147,601	円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（　令和7年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている　☑

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている　☑

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている　☐

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている　☐

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている　☑

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている　☐

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている　☑

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている　☑

（Ⅳ）　支援力向上

前年度（　令和7年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している　☑
◎外部研修、もしくは内部研修を１回以上実施している。　☑
※研修名　就労継続支援連絡会岐阜合同研修
研修講師 さわやか法律事務所　服部誠一弁護士
実施日・受講者数　9月 18日　76人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において１回以上発表している　☑
※研修、学会等名　151回社会政策学会　論文発表
実施日　令和7年 10月 26日
※学会誌等名　社会政策学会　論文
掲載日　令和7年 10月 26日
発表テーマ　就労継続支援A型事業における構造的課題と制度の限界

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている　☑
※先進的事業者:神戸町高田農園（小松菜大規模農業）
実施日/ 参加者:令和8年 2月 20日　6人
※他の事業所名
実施日/ 参加者数　月　日　人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ１回以上参加している。　☑
※商談会等名　岐阜ｽｸｰﾌﾞｽ社会貢献ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏｯﾁ
主催者名　岐阜ｽｸｰﾌﾞｽﾊﾟｽｹｯﾄ
日時　令和8年 3月 22日
内容　県下障害者支援施設への販売およびﾋﾞｼﾞﾈｽﾏｯﾁﾝｸﾞの機会提供事業

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している　☑
◎当該人事評価制度を周知している　☑
人事評価制度の制ﾐ令和 4年 4月 1日
人事評価制度の対象職員数　11名
うち昇給・昇格を行った者　11名
当該人事評価制度の周知方法
職員定例会議および全体研修会

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している　☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ﾋﾟｱｻﾎﾟｰﾄ研修」を受講している　☐
※配置期間　月 日～ 月 日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去３年以内に福祉サービス第三者評価を受けている　☐
※評価を受けた日　月 日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている　☐
※認証を受けた日　月 日
規格等の内容

（Ⅵ）　経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。　☐
※受理日　年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。